

(第三種郵便物認可)

全疾病保障団信を開始

SBI生命と東海地区で第1号

豊田信金

豊田信用金庫(愛知県豊田市)は今年9月から、住宅ローン利用者向けに全疾病保障の団体信用生命保険の採用を開始する。SBI生命と地域金融機関の連携案件で、東海地区の提携第1号。豊田信金は住宅需要が高い地域に多くの拠点をもち、ことから、多様化する顧客のニーズに応えられると判断した。獲得競争が激しい住宅ローンは金利では差がつかない。地域金融機関では団信で差別化する動きが目立つようになってきた。



豊田信金本店①とSBI生命の本社が入るビル②

住宅ローンの新規利用者が対象。通常の死亡保障だけでなく余命6カ月以内と医師が判断した際に保険金を前払いするリビングニーズ特約、重度がん保険金前払い特約が付く。

精神障害を除く病気やケガのリスクに備える全疾病保障の就業不能保障特約では、就業不能状態が続いた際には月々の返済額を保障する。就業不能状態が一定期間継続する場合には、残債を一括で保障する仕組み。

がん、急性心筋梗塞、脳卒中といった8大疾病を対象にしたものはよくみられるが、それ以外の疾病にも手厚い保障がつくことが特徴だ。

SBI生命では豊田信金での採用の背景を「幅広い保障範囲と低価格な保険料に着目してもらった」と説明する。全疾病保障団信は2017年6月の住信SBIネット銀行を皮切りに、今年の6月以降は地域金融機関との連携がスタートしている。